

わたしたちの街に新しい発見

ふ♡れ♡あ♡い

いかた

9月号

No.5
平成17年
9月1日発行

生涯学習だより

発行■伊方町教育委員会 編集■生涯学習課 印刷■(株)豊予社



小学生国内派遣事業（北海道泊村）

今月の主な紙面

- 親善大使北海道泊村へ
- スポレク祭2005(三崎会場)
- 佐田岬十三里見て歩き
- いかた学童クラブの
参加児童追加募集
- 公民館だより
- 伊方スポセンだより
- 図書館だより
- 学校通信
- 人権学習シリーズ
- 子ども放送局
- 町見郷土館から
- 佐田岬民俗ノート
- 広報 文芸

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

9月のテーマ

“お年寄りや目上の人を大切にしよう”

(実践方法)

- お年寄りを囲んで、若い頃の苦労話や昔話に耳を傾け、お年寄りへの理解と敬愛を深めよう。



ウニの養殖場の見学(泊村)



おいしいソーセージのできあがり

子ども親善大使 北海道泊村へ ～町内小学6年生30名～

8月3日(水)から5日(金)までの3日間、町内小学生(6年生)30名と随行員4名の34名で北海道泊村方面への派遣事業を実施しました。

この事業は、姉妹町村である北海道泊村へ子どもたちを派遣し、文化、人的交流を図り、様々な体験学習等を通して幅広い見識を持ち行動力のある人を育てることを目的に教育委員会が実施したもので、今回で7回目になります。

初日は、ラフティング



迫力満点のラフティング

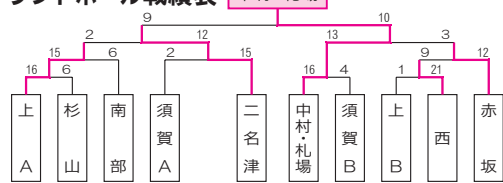
(ゴムボートによる川下り)を体験しました。あいにくの荒天で、川の流れが速

いため、はじめは緊張していた表情も班の仲間と声を出し合い、ともに協力することで、尻別川の約9キロの工程を約1時間かけて、最後まで漕ぎ続けることができました。

泊村での交流会では、地元の小中学生13名と一緒にウニの養殖場の見学やアイススケート等を行いました。泊村の子どもたちとはすっかり意気投合し、楽しく貴重な体験を共有することができました。

研修生たちは、北海道の大自然にふれ、多くの友だちをつくり、夏休みの楽しい思い出をまた一つやすることができました。

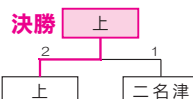
◆ソフトボール戦績表



◆レクリエーション・バレーボール

Aブロック	須賀A	二名津	中村	杉山	勝	負	セット差	順位
須賀A		×	○		1	1	0	3
二名津	○			○	2	0		1
中村	×			○	1	1	1	2
杉山		×	×		0	2		4

Bブロック	須賀B	上	札幌	勝	負	順位
須賀B		×	×	0	2	3
上	○		○	2	0	1
札幌	○	×		1	1	2



●全試合の結果は次のとおりです。

お盆大会として親しまれていた三崎町夏季体育大会が八月十四日(日)三崎総合体育館、三崎中グラウンドにおいて、今年から伊方町スポレク祭(三崎会場)として実施されました。

開会式には畑中町長さんも来賓として出席され、伝統ある行事が今後も地域づくりの潤滑剤として続くようにというお言葉がありました。

八時三〇分からは早速試合が開始され、レクリエーション・バレーボール、ソフトボールにさわやかな汗を流しました。

伊方町スポレク祭(三崎会場)

炎天下で熱戦

また、体験コーナーのソフトテニス、バドミントンにも多くの人が集まり、慣れない人もいたようですが笑いの中楽しんだ様子でした。

試合の内容はソフトボールには十チームが参加、熱戦が展開され、特に決勝戦は一点差を争う好ゲームに暑さも吹っ飛びました。結果は中村・札幌チームが優勝しました。レクリエーション・バレーボールは七チームが参加し、こちらも熱戦を繰り広げた結果、上チームが優勝しました。残暑きびしい中選手のみなさん、大会関係者のみなさん、本当にお疲れ様でした。



真夏の太陽の下見て、歩いて、13里!!

8月2・3日、公民館主催による「佐田岬13里見て歩き」が行われました。町内の小学4年生から中学3年生までが参加し、新伊方町の名所を1泊2日の行程で見て歩きました。伊方武道館を出発した一行は、進路を一路西にとり室の鼻を経由し瀬戸風の丘パークに向かいました。半島の尾根に連なる羽の長さ約30mもある大きな風車群が、宇和海から吹き上がる南風で勇壮に風を切りながら回っており、この景色と棒アイスで心と体をリフレッシュし、さらに大久展望台まで歩きました。初日はここまでで、ブリーズハウスで宿をとった子供たちは、飯ごう炊きなどでカレー作りやキャンプファイヤーを楽しみました。家では全く料理をしたことのない子供たちもボランティアスタッフのサポートで火おこしから行い、どうにか全員が夕食にありつけました。一夜明け、まだ眠たそうなスタッフをしりめに疲れ知らずの子供たちは、バスに乗り込み2日目の行程の



眼下に広がる瀬戸内海と宇和海が交わる速水の豊予海峡やさらには九州、中国地方を見渡す雄大な眺めを満喫した一行は、進路を今度は一路東にとり、途中バス移動をはさみながら半島一高い伽藍山まで移動しました。ここで瀬戸内海、宇和海を見渡す360度の大パノラマを満喫する予定が、この日はあいにくの霧景色。気分を取り直し、いよいよ総延長13里(内徒歩約30km)の長い旅路もフィナーレとなり一行は最後の力を振り絞りゴール(三崎公民館)を目指し、無事全員完歩しました。

なお、この事業にご協力下さいました、三崎高校生、町内小学校教諭、亀ヶ池生活改善グループ他一般のボランティアスタッフの皆様、大変ありがとうございました。

『いかた学童クラブ』の参加児童追加募集

町教育委員会では、放課後帰宅しても保護者がいない児童を対象に「いかた学童クラブ」を開設(現在12名の児童が登録)し、9月2日から活動を行う予定ですが、まだ定員に余裕がありますので、下記の要領で追加募集します。これから、農繁期を迎え、忙しくなる家庭が増えると思いますので、ぜひ、ご参加ください。

●平成17年度 いかた学童クラブ募集要領

(1) 目 的

昼間保護者が家庭にいない児童を対象に、放課後(午後3時頃から午後6時まで)児遊館で学童クラブを開設し、仲間づくりを通して、児童の健全育成を図ります。

(2) 実施期間

平成17年9月2日(金)～平成18年3月24日(金)まで
ただし、休館日及び土・日曜日、学校長期休暇中(夏休み等)はお休み

(3) 実施場所

伊方町生涯学習センター3階児遊館
放課後児童クラブ室

(4) 対 象 者

町内の小学校に在籍する低中学年生(原則3年生まで)で、放課後帰宅しても保護者が家庭にいない児童

(5) 定 員

原則として20名まで(希望者多数の場合は別途選考)

(6) 申込場所

伊方町生涯学習センター3階児遊館または
伊方町中央公民館(TEL 38-1020)

(7) 留意事項

- ①児童の送迎は各家庭で責任をもって行うこと。
- ②申込者はスポーツ安全保険(自己負担:500円)に加入すること。
- ③万一、事故等が発生しても町は一切責任を負いません。

平成17年度 ライフアップ講座のご案内

実施月	テーマ・内容	講師(敬称略)
第1回 10/1(土) 13:30 ～15:10	開講式・オリエンテーション 会議の持ち方・進め方 堅苦しい会議にはしたくないが、時間内に、きちんと討論して決めるべきことを決めたい。そのために必要な会議のルールを学びましょう。	松山東雲短期 大学 教授 森 貞 俊 二
第2回 11/19(土) 13:30～ 15:00	魅力ある企画書づくり 職場・グループ・地域において、質の高い企画が求められています。相手を納得させ、実践するための企画力を身につけましょう。	松山東雲短期 大学 助教授 桐 木 陽 子
第3回 12月	暮らしを彩るハーブ料理 さわやかな香りとともに、美容や健康にもよいと人気のハーブを使って、あなたのレパートリーを広げましょう。	未 定
第4回 1月	ピラティス入門 正しい腹筋運動と優れた身体感覚を養う、効果的な筋肉トレーニング。運動不足解消と、均整のとれた身体づくりのために大人気のストレッチ筋トレです。	未 定
第5回 2月	もっと快適に！私のインテリア 暮らしの中のインテリアを楽しんでみましょう。自分を素敵に見せる色やイメージを見つけましょう。そして家族も一緒に楽しめるインテリア小物の飾り方を学びます。	未 定

受 講 料 無料(ただし、材料費などの実費については受講者負担)

受 講 場 所 中央公民館2階 視聴覚室等

申込・お問合せ先 伊方町教育委員会 生涯学習課
TEL 38-2661・FAX 38-1179

申込み締切日 第1回目…平成17年9月22日(木)
第2回目…平成17年11月11日(金)
第3回目以降は随時広報等でお知らせします。

そ の 他 日程等、変更になることがあります。

平成17年度 陶芸教室(下期生)募集のお知らせ

粘土をこね、成形、釉かけ…とそれぞれの過程を楽しみながら陶芸に親しんでみませんか。陶芸教室(下期生)を下記の要領で募集しますのでご希望の方はお申し込みください。

開設場所 地域振興センター4階 民芸品試作実習室

期 間 10月～3月までの第2・4日曜日(原則)
都合により一部変更もあります。

時 間 Aコース 午前10時から 12時
Bコース 午後1時から午後3時

会 費 等 ・講師謝金1ヶ月1,000円
下期(10～3月)6,000円
・材料代は実費(500円程度)
・光熱水費については当分の間は無料とする。

募集人員 各コース5名、合計10名
(多数の場合は抽選)

申込方法 電話にて住所・氏名・性別・連絡先をお知らせ下さい。

申 込 先 伊方町中央公民館 (TEL 38-1020)

申込期限 9月16日(金)「期限厳守」

そ の 他 詳しくは、伊方町中央公民館までお問い合わせ下さい。

公民館だより 艶やかに!! 紅梅学級開校

8月8日、伊方地区の婦人会を卒業し老人会に入会するまでの女性を対象とした学習講座の紅梅学級が開講しました。開校式で運営委員や年間の行事計画を検討した後、午後からは高石栄養士を講師に「夏野菜を使った季節の献立」と題して料理実習を行いました。

おからを使ったナゲットやチリメンジャコ揚げジャコご飯、紅梅だけに豚肉とナスの梅肉和え、オクラともやしのスープやとつてもフルーティーなフルーツパフェの5品目を試作しました。参加者は初めての献立でレシピを片手にスタートしましたが、そこは百戦錬磨のベテラン主婦、いったん要領をつかむと、鮮やかな手さばきで1時間もたたないうちに見事に美味しそうな料理が完成しました。実際に



に料理すれば食べやすいと好評でした。また、美味しただけでなくジャコはカルシウム満点、おからは食物繊維が豊富でビタミンBやカルシウムは豆乳のそれと3倍と6倍あり、豚肉はたんばく質、ビタミンB1、ミネラルが豊富で、おからはビタミンAやミネラル、果物はもちろんビタミンの宝庫であり栄養バランスの取れた料理で、夏バテ解消、疲労回復、便秘解消のほか美容効果もあるようです。この料理をものにした学級生は、夏も元気に乗り切り、夏が終わるころには少し若返っているかもしれません。

伊方スポーツセンターだより

浅井助教授の体力測定

9月10日(土)

★テスト項目

- ・握力
- ・上体起こし
- ・長座体前屈
- ・反復横飛び
- ・急歩
- ・立ち幅とび
- ・10m障害物歩行
- ・6分間歩行



(注) 年齢別でテスト項目に違いがあります。

- 時 間 13:00～15:00
- 対象者 一般成人男女(20歳～79歳)
- 会 場 アリーナ・会議室
- 定 員 30名
- 受講料 500円/回
- 持ち物 運動のできる服装・屋内シューズ

- 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡下さい。
- 伊方町役場(生涯学習課) ☎ 38-2661
伊方スポーツセンター ☎ 38-1100
☎ 38-0776

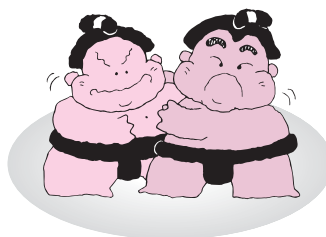


2005

愛媛県小学生相撲選手権大会

8月7日(日)松山市県総合運動公園相撲場で、愛媛県小学生相撲選手権大会が開催されました。

個人戦では、伊方小学校3年、黒川恭輔さんが準優勝、同小6年、崎須家翼さんが3位と大活躍しました。



伊方小3年 黒川 恭輔さん



伊方小6年 崎須家 翼さん

図書館だより

夏の厳しい暑さが日に日に和らぎ、秋の気配が少しずつ感じられるようになってきました。

7月下旬に町出身の俳人坪内稔典氏より多数の図書をご恵贈いただきました。まことにありがとうございます。

ここで、一部ご紹介いたします。

・「ナラ・レポート」

津島 佑子

・「砂漠の船」

篠田 節子

・「句集 翡翠楼」

照井 翠

・「幸福な食卓」

瀬尾 まい子

・「仏壇におはぎ」

武田 花

・「句集 ダリの椅子」

須山 つとむ
ほか



この図書については、10月1日開館してから貸出できますので、どんどん利用してください。

また、図書利用カードの申込みとあわせて団体利用申込みも随時受付中です。なるべく、早めに申込みいただきますようよろしくお願いします。





学校通信



花いっぱい伊方町に

伊方小学校

伊方町恒例の湊浦老人会と合同で行う花の苗植えを五月二十五日の放課後に、伊方小学校で行いました。庁舎前や中学校、つわぶき荘に設置するプランターへ苗を移植するとともに、本校花壇にも色とりどりのポーチュラカをはじめとする花々の苗を植えました。この活動は県緑化推進事業として廣瀬秀晴氏の音頭で始まり、四年目を迎えました。

伊方町は自然に恵まれ、豊かな緑に囲まれた町です。この日植えた花々が、さらに明日の輝きをもたらしてくれそうです。子どもたちは、老人会の方々と丁寧な作業の仕方を教えてもらいながら黙々と活動しました。プランターに植える花を選ぶときの色合いなどにも気をつけながらの作業でした。



作業を終えた後、冷たいお茶を飲んでいる子どもたちの瞳は充実感で輝いていました。一休みの後、子どもたちが協力しながらプランターを軽トラに積み込み、各所に運んで頂きました。本校に設置したプランターにも子どもたちが、水やりを行いました。夕日を受けシャワーに虹がかりました。今後も実践を通して環境美化意識を育てていきたいと思っています。関係者の方々に御礼申し上げます。

二名津地区愛護班活動

二名津小学校

二名津地区に愛護班が結成されたのは昭和三十八年で、今年は四十二年目を迎える。今年から保育園児を持つ世帯も加入し、小・中学生を持つ世帯を合わせて四十三世帯となり、園児と小・中学生の総数は七十九名となった。

愛護班では、青少年の健全育成のために地域の人々の協力を得て、奉仕活動、体験活動を通じて、郷土を大切にする子どもを育てている。毎年、二名津地区では、夏休みの全期間を通して、夜間街頭補導をしている。保護者全員の当番によって、子どもを地域で守り育てるという取り組みが、一致協力して、長年引き継がれてきた。

また、七月二十日、一学期終業式の午後から、愛護班によって海岸清掃が行われた。二名津地区では、この活動も長年、小・中学生、保護者、教職員により清掃、奉仕活動が続けられてきた。小・中学生は学校から明神までの県道を歩き、空き殻やごみを拾い、保護者は、その県道山際の雑草刈り

作業をした。約一時間半にわたる奉仕作業の後、冷たい西瓜が振る舞われた。その後、子どもたちは水泳をしたり、潜ったりして楽しんだ。夏休みには、郷土の海や山で遊んで過ごし、心に残る思い出を作ってほしいと思う。



六月二十三日、交通安全教室が開かれました。道路の正しい歩き方や横断歩道の渡り方、正しい自転車の乗り方を中心に行いました。特にダミー人形を使った自動車事故の実験では、思わず児童の口から

一学期の学校行事から

三机小学校

五月十七日、手つなぎボランティアを日赤奉仕団の方々と一緒に行いました。当日はとても暑い日でしたが、奉仕団の方々に励まされながら草ひきややり通すことができました。今年もこの行事から地域との交流をスタートさせました。

「わーっ」と、驚きの声があがり、交通事故の怖さ・命の大切さを実感することができました。



六月二十日、歯みがき教室が開かれました。八幡浜歯科医師会にもご協力いただき、正しいブラッシング法を学習しました。また、家庭とも連携して正しい歯みがき習慣が身に付くよう保護者にも参観していただきました。

七月十四日、水泳教室を行いました。海の子、三机の子もなかなか泳げないのが現状です。短い時間でしたが、水にチャレンジした一日でした。



二学期以降も運動会、音楽発表会などの多様な行事があります。行事を通して児童が育つことを願っています。





人権学習シリーズ 189

瀬戸地域の人権・同和教育の取り組み

瀬戸地域教育課

瀬戸地域の人権・同和教育は、昭和50年に瀬戸町同和教育協議会(後に人権教育協議会に名称変更)が発足以来、愛媛県人権教育協議会及び愛媛県教育委員会の基本方針に学びながら、町民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを目指して啓発・学習に取り組んできた。

活動内容としては、各種大会・研修会等への参加、人権コンサート、人権カレンダーの作成、広報への人権・同和教育シリーズの掲載による啓発活動等。従来行っていた地区別懇談会は、「人権・同和教育」という冠がついた研修会になるとどうしても参加者が固定化・敬遠しがちになっていた為、ここ2・3年は町主催の「町づくり懇談会」時に啓発活動を行ってきた。こういった場を利用するのも1つの手法ではあるが、結果的には逆に時間・内容が制限されてしまい十分な学習・啓発ができずに終わってしまい、反省と同時に今後の検討課題である。昨年、ある研修会で講師の方が「これか

らは『100人の一歩』ではなく『10人の50歩』を目指してもらいたい。」と言われた。指導者の養成の必要性を言われたのであろうが、視点を変えた取り組みもこれからは必要であると思う。

7月、町村合併により新「伊方町人権教育協議会」が発足し、新たな推進体制が整った。瀬戸地域においては、人権・同和教育の取り組みはまだまだ課題も多く住民への広がりも不十分ではあるが、繰り返し、繰り返しの研修・啓発を大切に、町民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりに、「いつでも」、「どこでも」、そして「だれも」が取り組む人権教育を目指して今後も努力していきたい。



9月	11:00	3日 生放送・VTR放送☆ Let's open the door! ⑬	10日 生放送☆ Let's open the door! ⑭	17日 VTR放送☆ 輝く子どもたち やまがたけん 山形県から生放送! 特設会場(山形県生涯学習センター)	24日 生放送☆ Let's open the door! ⑮
	11:05	子ども放送局 ニュース にじいろ玉手箱	ゆめ 夢スタジオ さいいでいたい! だれもが願うこと 日本初!出張美容師 のりせひろし 廣瀬浩志さん		チャレンジ教室 ものづくり オリジナル水鉄砲で ずぶ濡れバトル!
	11:15	「おしえてニュース」 「なんでも やってみよう」 あせ 汗と涙の マイ・ロード!! ち 千葉県一周 チャレンジツーリング〜	ひろせ 廣瀬さんは、体が不 自由な人のお家へ行っ て髪を切る、出張専門 の美容師。 ボランティアではな く、あえて商売の形を えら 選んだのには、とても たいせつ 大切な思いがこめられて いるんだ。		たけ 竹を使った手作りの みずでっぼう 水鉄砲で、対戦ゲーム をするよ。 ずぶ濡れになって思いつ きり遊んじゃおう! こうし 講師 藤田 栄さん
	11:30	子ども特派員報告 「受信会場だより」 など。 ぜんこく 全国の体験活動情報が ぎゅっしり。		(12:30)	
	11:45	さいほう 再放送 3日 13:30〜 7日 15:30〜	さいほう 再放送 10日 13:30〜 14日 15:30〜	さいほう 再放送 17日 13:30〜 21日 15:30〜	さいほう 再放送 24日 13:30〜 28日 15:30〜

生涯学習センターでは、三階児童遊館において、子ども放送局を放映しています。楽しい番組が盛りだくさん。皆さんの参加をお待ちしています。

子ども放送局



みんな来て! 見て! 参加してね!

どき 土器やけてます。

ドキドキ土器作りの作品が焼きあがっています。取りに来てくだされば、すぐにお渡しできますが、職員が少しずつ包んでお返ししております



◆今月のきょうどかん◆

2005年 9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■—おやすみ

休館日は都合により、変更する場合があります。

ので、多少お時間がかります。ご容赦ください。



はな この岬のかたち

— 写真にみる佐田岬半島 —

まもなく閉展！

8月28日で終了します。期間中は夜間開館でも大勢の皆さまにお越しいただきました。ありがとうございました。

来館者の声

(展示室ノートより)

- ★牛とのんびり暮らす写真がよかった
- ★もっと三崎の写真がみたい！
- ★展示室暑い！エアコンつけて！



町見郷土館から

TEL・FAX 39 - 0241 (不在の場合38 - 2661生涯学習課) / 開館時間9:30~16:30 / 休館月ほか

九町の並松しらべ

九町には「並松しらべ」という行事があります。「並松」は江戸時代に領内の守りの意で境界に植えられた松並木のことと思われています。九町でもかつて山上の山並に沿って大きな「並松」がありました。台風や南予用水・国道建設等でほとんどなくなつて、山から吹き降ろす風が家々を這うように強くなつたと語る年輩の方もいます。しかし行事は健在です。今年も九町六部落(奥・向・畑・須賀・久保・西)の区長で組織する「九町大仲」が、年に一回、その並松があった道を辿つて、草を刈り、木々に印をつけ、



▲ 並松しらべ(2005年5月29日撮影)



▲ フタマタ権現の祠(2005年5月撮影)

九町には「並松しらべ」という行事があります。「並松」は江戸時代に領内の守りの意で境界に植えられた松並木のことと思われています。九町でもかつて山上の山並に沿って大きな「並松」がありました。台風や南予用水・国道建設等でほとんどなくなつて、山から吹き降ろす風が家々を這うように強くなつたと語る年輩の方もいます。しかし行事は健在です。今年も九町六部落(奥・向・畑・須賀・久保・西)の区長で組織する「九町大仲」が、年に一回、その並松があった道を辿つて、草を刈り、木々に印をつけ、

果ては船で女子岬へも回るなどして、地区の境界線を再確認しています。九町の並松は三宝寺から山上へ上がったキタウラウネから、山の稜線に沿って東のカヤゴシ(亀浦越)にかけてあったそうで、道はカヤゴシから東は大峰、北は亀浦、南は伊方峠の茶屋があった所へと続いていました。カヤゴシとキタウラウネの間、九町分が一番高いフタマタウネ(きら館東、昔近くに二股の大松が

あった)には、通称フタマタ権現と呼ばれた祠が今も立派な石積みをはひっそりと残しています。現在九町の道路端にあるミニ四国霊場の石仏もかつてはウネジゴク(畝四国)と呼ばれてこの道にあつたもので昭和62年に移動、虫送り(昔はヤマギトウと言った)で子供たちが大数珠と鉦太鼓法螺貝で念仏を唱えながら巡る道でもありました。今はただの森林にしか見えな

佐田岬民俗ノート 4

報 文 芸

俳 句

伊方俳句会

大向日葵塀に顔出す通学路 木戸悦子
青蜜柑恋の天牛絡まれり 上田益男
平凡が良し日盛りの大風車 山崎美喜
梅雨明けり家中窓を全開す 篠川勝子
冷し麵暑き日忘れ流しこむ 広瀬秀晴
青紫蘇の香り添へたり冷し麵 菊池ましえ
盆踊櫓に靡く大漁旗 渡辺日出子
青茅の輪くぐる何方も畏みて 池田君子
花火果て闇に潮騒戻りけり 井上良枝

十薬を引きて匂ひを纏ひたる

松坂正子

病床や瞼に描く遠花火

上田サチエ

秋立てり眩しく廻る大風車

二宮寿賀子

宇宙より届く交信地球映ゆ

田中初子

万縁に抱かれ更に一泊す

門田千枝

凌霄花散り敷く花を踏まずゆ

井上まさ

原爆忌テレビに見る冷房部屋

篠川晴子

打ち水に舞い飛ぶ蝶の白二つ

宇都宮睦子

ふと孤独なり紫陽花のこざり

林 まさ

咲き 海の日の天気晴朗ヨットゆく

梶谷芳久

瀬戸北斗の会

手の甲の齡隠せぬ夏帽子 井上奈津子
汗を脱ぐ農の疲れの心地よし
山並みに並ぶ風車の里涼し
五月闇ひとりの刻を匂と遊ぶ
佐々木順子

恙なき卒寿の母や百日紅

船倉の壊されてゆく半夏生

伊藤植美

花に来てひらりひらりと黒揚羽

お揃いの夏帽で出る姉妹

水野千代美

山百合の花を抱えて友訪ね

三味を弾く娘らブランドの浴衣着て

藤村富士子

瀬戸紅日句会

蟬の声女医の診察異状なし 二宮清美
朝顔に目ざめ精出す野良仕事 山本タカエ
朝日受け露にカラーの白清し 松前シズ子
百年の神木百の蟬鳴かす 道下雅勝
喜雨受けて立ち上がりたるさ つま芋 安田増子
海鳥の渚に群れて真夏なり 長谷美久仁
城山の川面に万緑映りある 高地瑠美子
夕闇に群るる浜木綿白極む 大野律子
祖母の手を取りて真夏の誕生日 木村香代子

合掌家天窓より夏日入る

高塚侑子

山梔子の花月光に匂ひ来る

菊岡三代子

あみだ句会

向き向きに咲く朝顔の高さかな 松本ツタ子
凜然と咲く鬼百合に雨しとど 西上ミツヨ
少しずつつうする悲しみ濃紫 阿部ヨシ子
陽花 山百合や恵みの雨に紅濃ゆし 菊池タツエ
古里を訪へば皆留守西瓜をり 中村千代香
老いの背に暑さきびしやクロツケー 池上松子
琉球の朝顔といふ熱き青 山本敬子
朝陽受け山全体が蟬となる 高月 仁
僚船に井野浦どつちと霧の中 塩崎信子
梅雨空や由布の草原青絨緞 池井為吉
雨雲の日々をトマトは朱を濃くす 池上 馨

短 歌

かたばみ短歌会

長き髪さっぱり切つて年一つ重ねる今朝の風のすがしき 菊池朱見子
六十年小箱にたたむ千人針戦火潜りし夫の汗染む 梶谷千代子
僚船と氣炎上げつつ川下る四十川の吟行の旅 是沢美那恵
雷の轟く夕べ「それ来たぞ」恵みの雨の音立てて降る 梶田ミヨ子
朝ごとに目覚まし時計に起こさるる北窓あけて畑作を見る 武田美生子
隣りやの南部風鈴通る度音色やさしく風に乗り来る 岡山綱子
湯をそそげば絵の浮く湯のみ友に賜ひ朝々出逢ふ七福人に 宇都宮すみ
雨垂れが時刻むごと落ち続く床の中にて日すがら聞きとり 松坂正子